

禅

の心とかたち

開祖瑩山紹瑾禅師七〇〇回
二祖峨山韶碩禅師六五〇回
大遠忌記念

特別公開
近代社寺建築の名作

国登録有形文化財
仏殿

初公開
重要文化財
刺繍獅子吼文大法被



— 總持寺の至宝 —
旗揚げ展



相承

SOJO

大いなる足音が聞こえますか

平成28年 3月19日(土)~21日(月)
曹洞宗大本山總持寺

旗揚げ展 会場ご案内図

交通：JR 京浜東北線(鶴見駅)西口より徒歩(約5分)
京浜急行線(京急鶴見駅)より徒歩(約7分)



大本山總持寺は元亨元年(1321)に太祖・瑩山紹瑾禪師が開かれた曹洞宗の大本山です。

總持寺では開祖・瑩山禪師と二祖・峨山韶碩禪師のお二方を一体として仰ぎ「御両尊」と尊称しております。

この度、瑩山禪師 700回大遠忌(平成 36年)・峨山禪師 650回大遠忌(平成 27年)、いわゆる「御両尊大遠忌」の記念事業として、總持寺仏殿(国登録有形文化財)を会場に、所蔵する寺宝をはじめ曹洞宗の文化財を公に展覧の供する特別展を開催いたします。

近代社寺建築の名作であります仏殿をご覧いただき、数々の總持寺の至宝をご鑑賞いただきたいと思います。

会期：2016年3月19日(土)～21日(月)
時間：10時～15時
会場：總持寺仏殿
料金：一般 500円 学生(中学生以上) 300円
※ご観覧された方に記念品(散華)をお渡しいたします。

主催：曹洞宗大本山總持寺
協力：株式会社便利堂、ノムラテクノ株式会社、山九株式会社

禪の心とかたち

— 總持寺の至宝 — 旗揚げ展

【展示品】 ◎重要文化財 ※市指定文化財

- ◎瑩山紹瑾像 鎌倉時代
- ◎前田利家夫人像 江戸時代
- ◎提婆達多像 朝鮮・高麗時代
- ◎刺繍獅子吼文大法被 江戸時代
- ◎観音堂縁起 鎌倉時代
- ※前田利家像 江戸時代
- ※十六羅漢像 鎌倉時代
- ※象山徐芸像 江戸時代
- ※不動明王種子懸仏 鎌倉時代
- ※天童如浄和尚録 鎌倉時代
- 鎌倉彫前机 大正時代

仏殿

明治40年11月起工、大正4年6月竣工。入母屋造り重層組物二手先本瓦葺、総檜造り。

棟梁は伊藤平左衛門。伊藤家は名古屋で代々堂宮大工をつとめており、九代目平左衛門が仏殿を手掛けました。日本古来の社寺建築に精通し、数々の名作を製作した伊藤は、その功績を称えられ藍綬褒章を受賞しています。

曹洞大本山總持寺

〒230-8686 横浜市鶴見区鶴見 2-1-1
問合せ：宝蔵館
TEL.045-581-6065(直通) 9時～17時(木・金 定休)

特別展 禪の心とかたち — 總持寺の至宝 —

鎌倉展

鎌倉国宝館
2016年4月23日～5月29日

名古屋展

名古屋市博物館
2016年10月15日～11月27日